

2026（令和8）年度 第53回関東地区知的障害福祉関係職員研究大会 栃木大会 開催要項

1 趣 旨

関東地区（1都8県3市）知的障害者福祉協会の施設、事業所の職員が一堂に会し、施設、事業所が直面する諸課題について研究・討議し、これを実践として活かすことにより、知的障害者の福祉の向上に寄与することを目的とします。

2 テーマ

「意思を育む支援力」—利用者にとって最善の利益とは—

令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定において、障害者が希望する生活を実現するため、相談支援の質向上の提供体制の整備、さらには本人の意思を尊重し選択の機会を確保するための意思決定支援の推進が求められることとなった。令和8年度からは、地域移行を進めるため、障害者支援施設等をはじめとするすべての施設入所者に対し、地域生活への移行に関する意向や日中活動系サービスの利用意向の確認などを行うことが義務化とされることになっている。

そもそも障害者総合支援法第42条において、指定事業者等の責務として意思決定の支援への配慮や関係機関との連携に基づく効果的なサービスの提供が示されており、それらへの選択肢ならびに環境、体験の機会等を醸成することは私たちの重要な役割であり、各支援者が最も大切にしてきた部分でもある。

これまで培ってきた利用者の尊厳保持や自己決定を支える取組を、今後迎える「意思決定支援の枠組み」へ、どのように反映し、障害児者の自立支援に結びつけるか、「利用者の最善の利益」とはどのようなことなのか、改めて考え、各事業所の体制整備につながる機会としたい。

3 主 催

関東地区知的障害者福祉協会

特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会

4 後 援

栃木県・宇都宮市・公益財団法人日本知的障害者福祉協会（予定）

5 期 日

令和8年8月6日（木）～7日（金）

6 会 場

(1) 全体会・分科会

栃木県総合文化センター

〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8 TEL028-643-1000（代表）

ホームページ：<https://www.sobun-tochigi.jp/>

(2) 情報交換会

宇都宮東武ホテルグランデ

〒320-0033 栃木県宇都宮市本町5-12 TEL028-627-0111（代表）

ホームページ：<https://www.tobuhotel.co.jp/utsunomiya/index.html>

7 参加者（定員430名）

- (1) 関東地区知的障害福祉関係職員等
- (2) 関係機関・団体、教育等の知的障害福祉関係者

8 日程

【1日目】（8月6日〔木〕）

〈全体会〉 会場：栃木県総合文化センター サブホール

◇ 受付（12：00）

◇ 開会式（13：00）

主催者挨拶 関東地区知的障害者福祉協会 会長 山下 望
特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会 会長 菊地 月香

来賓祝辞 栃木県知事（予定）
宇都宮市長（予定）
各都県市代表者紹介

次期開催県代表者挨拶 （公社）群馬県知的障害者福祉協会 会長 中島 穰 氏

◇ 基調講演（13：30～15：00）

「令和9年度報酬改定と障害福祉事業所に求められる役割」
筑波大学 人間系 名誉教授 小澤 温 氏

◇ 休憩（15：00～15：15）

◇ 特別講演（15：15～16：15）

「その人らしく生きることを支える ―看護60年の実践から地域福祉に伝えたいこと―」
第50回 フローレンス・ナイチンゲール記章受章者
栃木県訪問看護ステーション協議会 相談役
（元 大田原赤十字病院 看護部長） 河野 順子 氏

◇ 事務連絡

◇ 閉会（16：30）

〈情報交換会〉 会場：宇都宮東武ホテルグランデ 松柏/さつき

◇ 開会（18：00）

主催者挨拶、来賓紹介等

◇ 閉会（20：00）

【2日目】（8月7日〔金〕）

〈分科会〉 会場：栃木県総合文化センター

◇ 受付（8：30）

◇ 開会（9：00）

◇ 閉会（12：00）

分科会		会場	定員
第1分科会	知的障がい・発達障がい疑似体験	栃木県総合文化センター 特別会議室	100名

第2分科会	児童発達支援部会/障害者支援 施設部会	栃木県総合文化センター サブホール	150名
第3分科会	日中活動支援部会/生産活動・ 就労支援部会	栃木県総合文化センター 第1会議室	100名
第4分科会	地域支援部会/相談支援部会	栃木県総合文化センター 音楽練習室	80名

※ 会場は、変更となる場合があります。

※ 各分科会終了後、解散

※ 各分科会の開催概要は別添1のとおりです。

〈展示販売等〉 会場：栃木県総合文化センター 特別会議室前ロビー

10:00～12:30 自主製品等の展示販売、お土産販売コーナー

9 参加費等

(1) 参加費 12,000円

(2) 情報交換会費 10,000円

10 大会参加申込・お問い合わせ

東武トップツアーズ株式会社 宇都宮支店

〒320-0023 栃木県宇都宮市馬場通り2-2-1 メットライフ宇都宮スクエア5F

TEL 050-9001-8727 FAX 028-636-7760

ホームページ：<https://www.tobutoptours.co.jp/>

※ 詳しい内容については、別添2のとおりです。

11 大会に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会 事務局

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内

TEL 028-612-1912 FAX 028-612-1902

e-mail jimu@tochigi-chiteki.org

基調講演講師

筑波大学 人間系 名誉教授 小澤 温 氏

障害福祉学およびケアマネジメント研究の分野において、長年にわたり教育・研究・実践に携わり、障害者の地域生活支援体制の構築や意思決定支援の普及に大きく貢献してきました。研究者としての理論的知見に加え、自治体や障害福祉事業所への研修・制度設計支援を通じて、行政・医療・福祉の連携を重視した実践的アプローチを考察してきました。

特に、本人の意思を尊重した支援モデルとしてのストレングスケアマネジメントの推進や、相談支援およびケアマネジメントの質向上に力を注ぎ、現場の支援者が利用者の思いを丁寧に受け止めるための支援方法の普及に努めてきました。これらの取り組みは、障害者の地域生活を支える仕組みづくりにおいて重要な役割を果たしています。

今回の講演では、令和9年度報酬改定の動向を踏まえ、障害福祉事業所に求められる役割や機能について体系的に解説するとともに、意思決定支援を中心とした今後の支援実践の方向についてご講演いただきます。

特別講演講師

第 50 回 フローレンス・ナイチンゲール記章受章者

栃木県訪問看護ステーション協議会 相談役

(元 大田原赤十字病院 看護部長) 河野 順子 氏

河野順子氏は、看護師として60年にわたり地域医療と看護の発展に尽力されてきました。その顕著な「退院計画」の功績が高く評価され、第50回フローレンス・ナイチンゲール記章を受章されました。同記章は、フローレンス・ナイチンゲール氏の生誕100周年を記念して1920年に創設され、赤十字国際委員会（スイス・ジュネーブ）より2年に一度、世界各国で優れた功績を残した看護師に贈られる、看護界最高の栄誉とされています。

今回の受章者は17の国と地域から35名で、日本からは河野氏を含む3名が選ばれました。令和7年7月31日の授与式では、皇后陛下より直接記章が手渡されました。日本人受章者はこれまで118名、栃木県では2人目、大田原市では初の受章となります。

河野氏は、旧大田原赤十字病院の看護部長として、2000年の介護保険制度導入を見据え、国際医療福祉大学との共同研究により、現在の地域包括ケアにつながる「退院計画」の構築に先駆的に取り組まれました。退院後の患者が地域で安心して生活を再開できるよう、支援体制の整備に尽力され、その強い信念と実践は「地域でみんなが支え合う」文化を育み、患者のウェルビーイング（より良い暮らし）の実現に大きく貢献しています。

現在は、県訪問看護ステーション協議会の相談役として、地域医療の発展と後進育成に力を注がれています。